



2020年

2月15日(土)・16日(日)



仙台舞台芸術フォーラム
2011→2021 東北
SENDAI PERFORMING ARTS FORUM
2011→2021 TOHOKU

「仙台舞台芸術フォーラム」オープニングイベント

東日本大震災後の舞台芸術に焦点を当て、2019年度から3カ年にわたり開催する「仙台舞台芸術フォーラム」。そのオープニングとして、東北で活動する3人の劇作家が、自身が震災後に創り出した戯曲を現在の視点で再構成した作品を上演いたします。

上演後のトークセッションでは、劇作家がひとりの人間として、震災から今に至る時間の流れの中で、どのように表現と向きあってきたのか、また、今回の上演にはどのような想いを込めたのかを聞き、ご来場の皆さんとの対話の機会としていきたいと考えます。

13:30～ 開場

14:00～ 演劇・ドラマリーディング(両日)

「はなして」 作・演出 生田恵—約35分

「徒然だ」 作・演出 なかじょうのぶ—約60分

「壊れる水」(演劇「祝／言」より) 作・演出 長谷川孝治—約60分

※途中休憩あり

17:00～ トークセッション(両日)—約60分

「劇作家は、震災をどのように受け止めたのか」I・II

出演：生田恵、なかじょうのぶ、長谷川孝治 ほか

司会：伊藤み弥(演出者)

【会場】

せんだい演劇工房 10-BOX box-1

(仙台市若林区卸町2-12-9)

【料金】

全席自由 1,500円(各日毎・日付指定)

チケット発売日 2019年12月18日(水)

【チケット取り扱い】

◎日立システムズホール仙台(一階事務室)

電話予約 仙台市市民文化事業団 総務課

TEL：022-727-1875 (平日9:00~17:00)

◎仙台銀行ホール イズミティ21(一階事務室)

◎せんだい演劇工房 10-BOX ◎藤崎 ◎仙台三越

◎チケットぴあ(Pコード499-258)

◎ローソンチケット(Lコード21427)

【託児有：要事前申込・1月30日(木)まで】

【お問い合わせ】

せんだい演劇工房 10-BOX

TEL：022-782-7510

E-Mail：contact@gekito.jp

10-BOX 公式HP：https://www.gekito.jp/

演劇

「はなして」(作・演出 生田恵)

三角フラスコ

＊2011年8月初演作品を再構成(上演時間 約35分)
夏に上演する作品の製作中に東日本大震災が起こる。物語る言葉はばらばらになってしまったけれど、記憶と言葉の欠片を繋いだ戯曲と外界との境界線を失った身体で出来上がった『はなして』は物語以前の、土地と風景の記録だった。2011年8月、INDEPENDENT JAPAN TOUR in 仙台において初演。4都市で17ステージ上演。

【出演】

瀧原弘子—三角フラスコ

渡辺千賀子—三角フラスコ

岩佐絵理—SteamTV

後藤史織

柚彦

前田佳澄

文音

山澤和幸

横山千真



生田恵プロフィール

仙台市出身。劇作家、演出家。1995年に三角フラスコを結成、初代代表を務める。以降、2012年までの38作品ほぼ全てにおいて作・演出を担当。2012年8月、出産のため一旦劇団の活動から離れるが2014年春に復帰。現在は、育児をしながら脚本を執筆するとともに、演劇の手法を用いた産み育てワークショップなども手がける。

ドラマリーディング

「徒然^{とぜん}だ」(作・演出 なかじょうのぶ)

劇団三カ年計画プラス演劇ユニット石川組

＊2015年9月初演の演劇作品を再構成(上演時間 約60分)
「オレオレ」「ナミオちゃんかい?」「ナミオ?そう俺ナミオ」老婦人が問い返した名前は未だ帰らぬ孫の名前。老婦人に聞いた道を訪ねて行くと墓石の前へ。置き忘れたモノを見つけ、そこに自分を登場させると物語は走りだすと力説する絵画講師。突然に止まった老婦人の時間は徒然な絵本の頁に入り走りだしてゆく。老婦人はナミオの声を聞いたのだ。「頁をめくりますよ」と聞こえたのだ。

【出演】

東加代子—三カ年計画

海苔のりこ—三カ年計画

ヒビカミカ—劇団どんちようの会

Kイノマタ—三カ年計画

なかじょうのぶ—三カ年計画

大前雅信—三カ年計画

絵永けい—石川組

宿利左紀子—石川組

片倉久美子—石川組

【演奏】

白鳥颯也



なかじょうのぶプロフィール

1983年より独人芝居を始め16作品上演。1998年独人芝居『カイゴの鳥』劇作家協会新人戯曲賞受賞。2002年度宮城県芸術選奨受賞。2005年『木製家族』第三回近松賞最終候補作品。2010年劇団三カ年計画結成。2011年旗揚げ公演リハーサル中、東日本大震災に遭う。2019年『vol.6 失念』吉野作造記念館、風の沢ミュージアム、せんだい演劇工房 10-BOX にて上演。

ドラマリーディング

「壊れる水」(作・演出 長谷川孝治)

弘前劇場

＊2013年10月初演の演劇『祝／言』を再構成
(上演時間 約60分)

2011年3月11日午後2時46分。その日、その時刻からの、ある東北の劇作家と彼と一緒に舞台を作ってきた演劇人たちの小さな記録。逝った者と逝かれた者、壊れたモノと壊されたモノを、小説というフィクションを借り、引用というリアルを混入しながら描く。東日本大震災以後とは、失われてしまった「言葉」をもう一度取り返す日々であった。中断された「物語」を再び紡いでいく時間であった。

【出演】

福村彩乃—青森県立美術館演劇部

佐々木優—青森県立美術館演劇部

高橋淳—弘前劇場

長谷川孝治—弘前劇場

【映像】

串田明緒

【写真】

高橋淳



長谷川孝治プロフィール

劇作家・演出家。青森県立美術館舞台芸術総監督・NPO 弘前劇場理事長。1978年劇団「弘前劇場」結成(現NPO 法人弘前劇場)。1996年第1回日本劇作家協会最優秀新人戯曲賞。2006年～現在、青森県立美術館舞台芸術総監督。2013年日中韓国際演劇制作作品『祝／言』をソウル、チョンジュ(全州)、テジョン(大田)、北京、上海、青森、仙台、東京の8都市で上演。